

岩手県金融経済概況（2023年12月）

1. 概況

県内経済は、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横這い圏内で推移している。設備投資は、増加している。個人消費は、回復している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横這い圏内で推移している。

先行指標である公共工事請負金額（2023年12月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△18.6%）。

設備投資は、増加している。

2023年12月短観（岩手県）における2023年度の設備投資計画は、非製造業では前年度比減少するものの、製造業ではEV向け電子部品の製造設備など、長期的な需要拡大を見越した能力増強投資等から前年度を上回り、全産業ベースでも前年度比増加する計画となっている（前年度比+13.6%）。

個人消費は、回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2023年11月）は、3ヵ月連続で前年を下回った（前年比△6.4%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2023年11月）は、引き続き前年を上回った（同+3.6%）。一方、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2023年12月）は、1年4ヵ月振りに前年を下回った（同△2.1%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、下げ止まっている。

新設住宅着工戸数（2023年11月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+1.0%）。内訳をみると、持家（同△22.2%）、分譲（同△27.3%）は前年を下回ったものの、貸家（同+55.7%）が前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数（季節調整値：2023年11月）は、2ヵ月振りに前月を下回った（前月比△0.2%）。主な業種の指数をみると、化学などが上昇したものの、電子部品・デバイス、生産用機械が低下した。

四半期の動きをみると、2023/7～9月は2期連続で前期比低下した（2023/1～3月：前期比+2.3%、4～6月：同△1.6%、7～9月：同△8.0%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2023年11月）は、1.21倍と、2ヵ月振りに前月を下回った（2023年10月：1.23倍）。

雇用者所得（県内合計値：2023年11月）は、常用雇用指数（前年比+3.0%）、名目賃金指数（同+7.6%）とも前年を上回るもとの、3ヵ月連続で前年を上回った（同+10.8%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2023年12月）は、引き続き前年を上回った（前年比+3.1%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2023年12月）は、4件、負債総額2,161百万円となった（前年同月は5件、負債総額980百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2023年11月）をみると、預金は前年並みとなり、貸出は前年を上回った。貸出約定平均金利（2023年11月）は横這い圏内で推移している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

